

近江長岡駅バリアフリー化の進捗は



R2・3年度調査設計業務。R4年度整備工事予定

米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党湖北地区議員団
事務局 藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

お隣の関ヶ原町の町民の方10名が「近江長岡駅のバリアフリー化」の進捗状況について知りたいと米原市に視察に見えられました。米原市では出前講座としてシテイセー
ルス課の坂課長と担当者、前の担当者であった地域振興課の方が説明を行いました。
山脇議員と藤田前市会議員も参加しました。説明のあった内容は次のとおりです。

近江長岡駅のバリアフリー化について事業概要

○今後更に高齢化が進む中、障がい者も含め、あらゆる人が安全かつ円滑に利用できる鉄道駅の整備を促進します。

○山東・伊吹地域の拠点駅である近江長岡駅の機能を高めることで、鉄道駅の利便性を生かしたまちづくりを進め、まちの魅力を高めます。

○そこで、近江長岡駅のバリアフリー化に向けて、鉄道事業者との協議を進めるための調査を開始するため、調査設計を行います。

R2年度の取組について

○鉄道駅バリアフリー化調査設計委託料16,940千円

※本業務により、工法、概算事業費および、工期等を調査し、鉄道事業者とバリアフリー化に向けた協議を進めます。

R3年度取組について

○令和2年度～3年度調査設計業務

○令和3年度～4年度詳細設計業務

○令和4年度～バリアフリー化整備工事
※工事着手に向けた詳細設計等は、調査設計後において鉄道事業者と協議しながら検討します。

ら検討します。

※整備事業は市が行い、整備後の保守管理、運用、故障等異常時の対応、エレベーター等使用に伴う付き添い等も、市が行う方向で、鉄道事業者と協議を進めます。

整備費用の負担割合(予定)

○米原市 2/3
鉄道事業者 1/3

※国県補助金については、現在協議中です。

参考1日あたり乗降客数

平成30年市内各駅一日平均乗降客数(人)	
・米原駅	11,028
・近江長岡駅	1,690
・坂田駅	1,256
・醒ヶ井駅	752
・柏原駅	548

質疑応答

Q、関ヶ原町でも駅のバリアフリー化を強く要望している。今まで国の補助基準は乗降客が3000人となっていたが2000人へ変わると聞いています。2000人に満たない近江長岡駅のバリアフリー化が進んだ原因は。関ヶ原駅は2000人を越えているが。

A、住民の要望とトップセー
ルスの効果ではないか。

Q、エレベーター2基必要と思うが、どれだけ費用がかかるのか。

A、本年度に調査設計業務

が完了する。その結果を見ないと額は出てこない。

Q、国県の補助金はどうなる。鉄道事業者が行うバリアフリー化との違いは。

A、今回は市の所有するバリアフリー施設を鉄道構内に設置する方式で行う。鉄道事業者が設置して補助金を請求する方式とは違うので、国県の補助対象になるか調整中である。

Q、この様に近江長岡駅でバリアフリー化が進んでいることは大変うれやましい。我々も参考にしていきたい。整備された駅前ロータリー



整備された駅前ロータリー



駐車場の料金表示

裏面にタムトモこと田村智子(参院議員・副委員長)さんのオンライン講演会の案内があります。ぜひ聞きに来てください

雑感

山東支所でのバリアフリー化の話のあと近江長岡駅を視察しました。その中で関ヶ原の方も駅前駐車場の使用料が先払い600円は高すぎるのではとの話が出ました。伊吹の方からこんな話を聞きました。統合庁舎に会議や用事で行く場合、出来る限り自家用車ではなく鉄道を利用したいと思っています。しかし駐車場にわずかな時間でも600円かかる。電車代に往復480円。こんな高くては車でいくしかない。また向こうでも駐車場の心配をする必要がある。こんな事では、ますます鉄道利用が無くなるのではないかと。考えてほしいとのこと。